ごみを減らすために必要なこと ～なるべく出さない、リサイクルする～

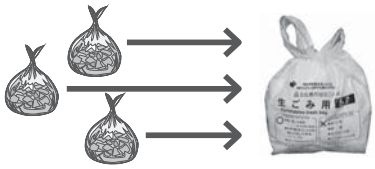
☆食材を買い過ぎたり、食べ残したりしていませんか

- 使い切れる分量を買いましょう
- 賞味期限などを小まめにチェックしましょう
- 買う食材を決めてから、買い物に行きましょう

どうしても捨てなければいけないものは、必ず生ごみ用指定ごみ袋（黄色）で出しましょう。

生ごみ分別のポイント

- 調理のたびにビニール袋に入れて小分けすると、臭いの防止になります。複数の小袋を指定ごみ袋に入れることができますが、小袋は二重にしないでください



- 生ごみは水分を多く含んでいます。きっちり絞ってから捨てることで、臭いの発生を少なくします

☆この識別表示マークがついているものが対象です

商品を入れたり、包んだりしていたものだけで、商品そのものは該当しません。

必ず汚れを落としてから出してください。

プラスチック製容器包装ごみ分別のポイント

★汚れを落とすこつ

- 中身を使い切った後、すぐにすすぐと効果的です
- 納豆のパックなどは、水に少し漬けておくと汚れがよく落ちます
- マヨネーズなどのボトル・チューブ類は、水を入れて、フタを閉めて振ると汚れが良く落ちます
- 油汚れは、布などで拭き取る方が効果的です

★どの程度汚れを落とした方が良いの？

- 軽くすすぎ、固形物や汁が残らないようにしてください。少量のお湯ですすぐと、ほとんどの汚れは落ちます。すすいだ後は、水気を切って出してください

☆自治会・町内会などの集団資源回収にご協力を

集団資源回収に出すことによって、紙類やびん、缶などは業者に買い取ってもらえるので、自治会・町内会などの活動資金になります。

また、市に資源回収団体として登録すると、１kg当たり４円の奨励金が交付されます。ぜひ、登録してください。

まずは、きれいなごみステーションから

きっかけは、近隣の方から汚いのでごみステーションを移動してほしいと言われたことです。それから、ごみステーション周りの草刈りや掃除を小まめに行うようにしました。そうすることで、皆さんもきれいにごみを出してくれるようになりました。

資源ごみの分別は、分かりづらいものが多いので、有料化開始前からごみステーションの巡回をしています。不安な方には、ごみを出す前に呼んでもらい、助言をすることもあります。

他にも町内会行事の時にチラシを配布したり、間違いの多いものはごみステーションに掲示したりして周知しています。

分別についての意識を高めるため、可能な方には資源ごみの袋に番地を書いてもらっています。こうすることで、分別が違ったときには、後で助言することもできます。

ごみの埋立地には限りがあります。私たち、一人一人が分別を徹底することで、処分場を延命させることが大事だと思います。

親和町内会長
津村文夫さん

取り組もう！ ごみの減量と分別

問合せ　環境課（☎372-3311・内線606）

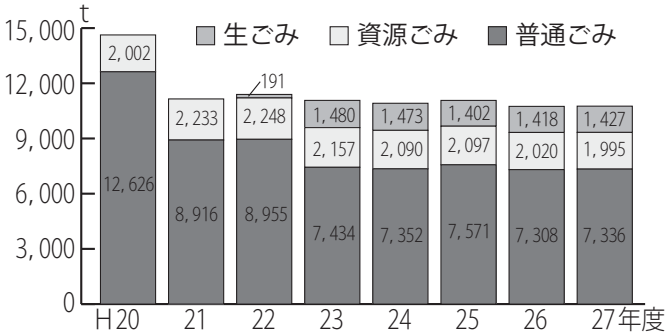
平成20年の家庭ごみ有料化や23年の生ごみの分別開始以降、直接埋め立てられるごみは減り、分別された生ごみが増えてきました。

しかし、資源ごみとして出された中には、汚れたまま出されたごみや正しく分別されていないごみもまだ多く見られ、ごみステーションを管理している自治会・町内会の方々が大変な苦労をされています。

また、生ごみの分別も、まだまだ徹底されていません。分析した結果、普通ごみとして出された中に約３割生ごみが入っていることが分かりました。

今回は、ごみの減量や分別のこつ、町内会で工夫されているごみステーションについて紹介します。

☆年度別家庭ごみ量の推移



まだまだ減らせる？　ごみ減量のこつ！

一人１日100ｇ、ごみを減らしてみよう

7,977ｔ。これは平成27年度に家庭から出され埋め立てられたごみの量です。普通ごみや破砕しないごみ、粗大ごみは、そのまま最終処分場に埋め立てられます。特に、毎年7,000ｔ以上排出されている普通ごみの中には、生ごみや雑誌など資源となるものが多く含まれている事が、分析の結果から分かりました。

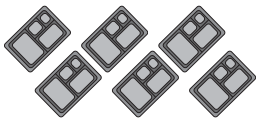
例えば、普通ごみの中に生ごみは約32%、プラスチック製容器包装ごみは約11%、新聞・チラシ・雑誌は約５%含まれています。他の資源になるものも合わせて重さにすると、約4,000ｔにもなります。

まずは半分。分別や減量に取り組んでみませんか。一人１日100ｇごみを減らしたり、資源として分別したりするだけで、年間2,000ｔ近くの減量ができます。

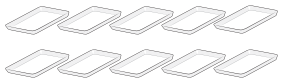
☆ごみ100ｇはどれくらい？

●バナナの皮３本分

●弁当の空き容器６個



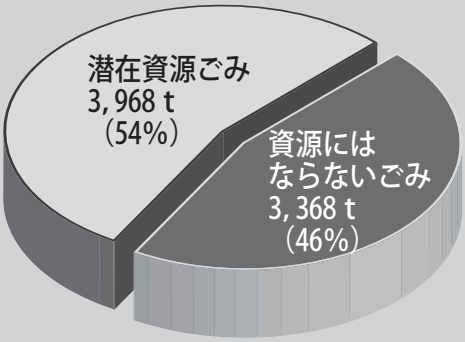
●白色トレイ10枚



●新聞（夕刊）１部

衝撃の事実!!

なんと普通ごみの半分以上が資源として分別できるごみだった!!



＊潜在資源ごみとは、普通ごみに混ざっている資源ごみのことです。